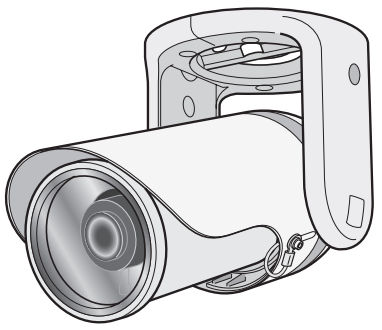
JVC

ハウジング一体型HDネットワークカメラ　取扱説明書（設置編）

型名 **VN-H157WP**



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書（設置編）」（本書）と別冊の「安全上のご注意」、「取扱説明書(IP設定編)」をお読みのうえ、正しくお使いください。特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

本機の取り付け方は、裏面以降をご覧ください。

LST1243-001B

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について
この商品には保証書を別途添付してあります。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について
保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他の詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について
保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先
その他アフターサービスについてご不明の点は、お買い上げの販売店または別紙ご相談窓口案内をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは
お買い上げ販売店、またはご相談窓口に次のことをお知らせください。
品名：ハウジング一体型HDネットワークカメラ
型名：VN-H157WP
お買い上げ日：
故障の状況：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所、お名前、電話番号：

商品廃棄について
この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適正に処理してください。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター
0120–2727–87
携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950［代表］
FAX (045) 450-2308
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ http://www3.jvckenwood.com/
株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

© 2012 JVC KENWOOD Corporation

LST1243-001B

安全上のご注意

本機に電源を供給するには、AC24 V 50 Hz/60 Hz、またはPoEを利用します。正しい電圧でお使いください。
AC24 Vは必ず一次電源から絶縁されたものをお使いください。
定格を超えた電源を供給すると故障や発煙・発火の恐れがあります。故障した場合は、まず電源を切って、速やかにご相談窓口へ連絡してください。
定格を超えた電源電圧を供給した場合、外観・動作に異常がなくても内部にダメージが残っている場合がありますので、速やかにご相談窓口へ連絡して点検(有償)を受けてください。

この取扱説明書の見かた

本書では本機の設置に関する操作を説明します。
- ネットワークの基本設定については[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。
- 画像やネットワークなどの設定については付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。
- 最新の情報については、付属のCD-ROM内の"README"ファイルをご覧ください。
- 付属のCD-ROMには、[取扱説明書(設定編)](pdf)、[APIガイド](pdf)、[JVC-VN-検索ツール]、[JVC-VN-IP設定ツール]、[README](txt)が含まれています。

本文中の記号の見かた

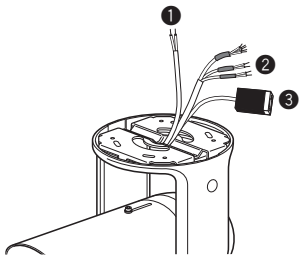
ご注意：操作上の注意が書かれています。
メモ：機能や使用上の制限など、参考になることが書かれています。
☞　：参照ページや参照項目を示しています。

本書記載内容について
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のために予告なく変更することがあります。

添付物・付属品

[取扱説明書(設置編)](本書) 1
保証書 1
CD-ROM 1
ボルト(M8)×16 mm 2
[取扱説明書(IP設定編)] 1
[ご相談窓口案内] 1
[安全上のご注意] 1
レンチ 1
平ワッシャー 2
ばねワッシャー 2
取付ブラケット 1

ケーブルについて



ケーブルの種類	色		信号名
❶電源ケーブル	赤		AC24 V電源
	黒		AC24 V電源
❷オーディオ/アラームケーブル	アラーム	茶	入力1(アラーム)
		赤	入力2(アラーム)
		オレンジ	出力1(アラーム)
		黄	出力2(アラーム)
		黒	GND(アラーム)
	オーディオ	白	マイク入力
		黒	GND(マイク入力)
		緑	ライン出力
		黒	GND(ライン出力)
❸LANケーブル	黒(シールドケーブル)	RJ-45	10BASE-T/100BASE-TX

● AC24 Vと接続する場合の電源ケーブルについて

導体直径(mm)	φ1.0以上	φ1.6以上	φ2.0以上
最大接続距離(m)(参考値)	90	240	370

ご注意
- 安全上、すべての接続が終わったことを確認してから電源を入れてください。
- 各種ケーブルは、必ずカメラ用の電源を切ってから接続してください。
- PoEとAC24 V電源を同時に使うことは故障の原因になります。必ずどちらか一方で電源を供給してください。
- AC24 V電源を使用する場合、電源ケーブルから出荷時に貼ってあるテープを取った後、AC24 V電源と接続し、新しい絶縁テープおよび防水テープを巻いて処理してください。

● LAN ケーブル
- HUBに接続する場合:
  ストレートケーブルを使用してください。
- パソコンに接続する場合:
  クロスケーブルを使用してください。
- ケーブルには、長さ100 m以下、カテゴリー5以上のSTP(シールドケーブル)を推奨いたします。

ご注意
- パソコンによってはクロスケーブルを利用できない機種があります。パソコンに接続する場合には事前にパソコンのLAN仕様をご確認ください。

● アラームケーブル
- ケーブルには、長さ50 m以下のシールドケーブルを推奨いたします。

オーディオケーブルの接続

オーディオ機器のケーブルを接続します。
オーディオケーブル(白/黒)(マイク入力)　：プラグインパワー対応のコンデンサマイクなどと接続します。
オーディオケーブル(緑/黒)(ライン出力)　：アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

メモ
- オーディオケーブルには、シールドケーブルを推奨いたします。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所
- 次のような場所に置かない
  誤動作や故障の原因となります。
  - 許容動作温度(-10 ℃～ 50 ℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
  - 許容動作湿度(20 %RH ～ 90 %RH)範囲外の湿気の多いところ(結露なきこと)
  - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
  - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ほこりや砂の多いところ
  - 振動のあるところ
  - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - 可燃性雰囲気などの特殊環境
  - 厨房など蒸気や油分の多いところ
  - 放射線やX 線、および腐食性ガスの発生するところ
  - プールなど、薬剤を使用するところ
- 本機および本機に接続したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ(例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く)で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機を冷気があたる場所やエアコンの噴出口の近くに設置しないでください。急激な温度変化によってフロントカバーのガラスがくもるおそれがあります。
- 熱のこもる場所に設置しない
  本機は本体表面からも放熱を行っています。壁の角など熱のこもる場所に設置しないでください。
- 本機はIP66準拠ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

取り扱いについて
- 通風を妨げない
  本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

著作権保護に関して
- お客様ご自身が、素材画像・音声の著作者であるか、または素材画像・音声の著作権者から複製などについて許諾を受けている場合を除き、他人の著作物を素材画像、音声として、複製、改変、送信などするには原則として著作権者の許諾が必要です。
- 許諾を得ないで他人の著作物を複製、改変、送信などした場合には、著作権法違反とされ損害賠償などの責任を負うことがありますので、他人の著作物を素材画像・音声として使用する際、その著作物の使用許諾条件などについては、お客様ご自身で十分ご確認ください。
- 複写体の権利(者)が存在する場合は、撮影の許諾、利用(加工)の許諾を受ける必要がありますので、お客様ご自身でそれに係わる許諾条件を十分ご確認ください。

免責について
- 動き検出機能は、盗難、火災などを防止する機能ではありません。万一発生した損害に対する責任は一切負いません。
- 本機のカメラ映像によりプライバシー侵害などが発生した場合、万一発生した損害に対する責任は一切負いません。
- 録画(録音)したものは個人として楽しむなどのほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。

お手入れについて
- お手入れは、電源を切ってから行ってください。
- フロントカバーのガラスは、レンズふき用布(または柔らかい布)を使用して汚れをふきとってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめてふき、後でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどでふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。

省エネについて
- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

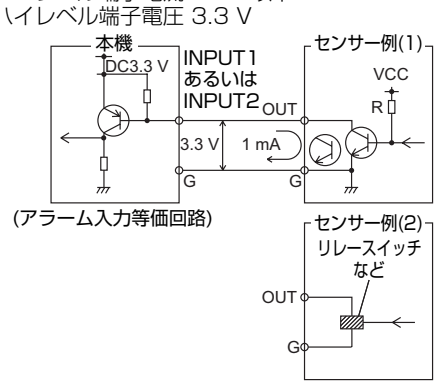
その他
- 本機はAGC回路内蔵のため、AGCを"Mid"、"High"で使用したとき、暗い画像では感度が上がり、画面がざらついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- 本機のホワイトバランスを"ATW"(自動色温度追尾)に設定して使用したとき、被写体の状況により、自動色温度追尾回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが故障ではありません。
- 商用電源周波数50 Hzの地域では、蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)のちらつき(フリッカー)を防ぐため、フリッカレスモードに切り換えてご使用ください。
- 電子感度アップを動作させた場合、感度が上がるため画面がザラついたり、白点が増えることがありますが、故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって、電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- 本機を寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温に1時間程度放置したあと、電源を入れてください。
- マルチキャストを利用する場合は、IGMPv2に準拠したネットワークスイッチをご使用ください。
- インテリジェント機能搭載のHUB/Switchの一部機種においては、ブロードキャストまたはマルチキャストの抑制機能が付いています。その機能が有効な場合、本機のマルチキャスト画像が正常に閲覧できない場合があります。
- 本機との接続に使用するLANケーブル・アラームケーブル・オーディオケーブルはシールドケーブルの使用を推奨しています。シールドケーブル使用にて安全性・信頼性の確認を行っています。
- 統合ビューワー視聴時に音声がずれる場合がありますが、故障ではありません。
- レンズを太陽光などの強い光源に向けないでください。故障の原因となります。
- ハロゲンランプや電球など赤外線成分が強い光源では黒色の被写体が紫に近い色に映ることがありますが、本機の特性によるもので故障ではありません。

この装置は、情報処理等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

アラームケーブルの接続

アラーム入力
赤外線センサー、ドアセンサー、金属センサー、手動スイッチなどのセンサーと接続します。
- アラーム入力信号は、内部回路へのノイズ混入を防止するため無電圧接点信号を加えてください。
- 電圧を供給しないでください。
- メニュー設定で接点がショート(MAKE)時にアラームとするか、接点がオープン(BREAK)時にアラームとするか設定可能です。
- アラーム信号は最低でも500 ms以上続けて加えるようにしてください。それより短い場合、アラーム信号として認識されないことがあります。

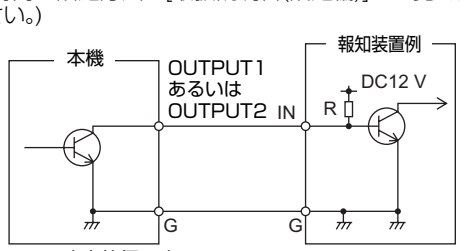
● 入力条件
- 無電圧a接点またはNPNオープンコレクター出力回路を接続
  (極性の設定方法は、[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。)
- ローレベル端子電流 1 mA以下
- ハイレベル端子電圧 3.3 V



(アラーム入力等価回路)

アラーム出力
報知器、表示器、ライト、ブザーなどの報知装置と接続します。
- アラーム出力信号はオープンコレクター出力となっており、メニュー設定でアラーム時の接点をショート(MAKE)とするかオープン(BREAK)とするかを設定可能です。(耐圧16 V、30 mA以下)
- この端子は、極性があります。必ず－側出力より＋側出力の電圧が高くなるよう接続してください。逆電圧を加えると破損します。

● 出力条件
- NPNオープンコレクター出力相当
  (出力論理の設定方法は[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。)
- 許容印加電圧：DC12 V以下
- 許容流入電流：50 mA
- モーメンタリ(100 ms～5000 ms)出力
  (時間の設定方法は[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。)



(アラーム出力等価回路)

ご注意
- 本機G端子ケーブルと報知装置のGNDを接続してください。

☞ 次ページへ続く

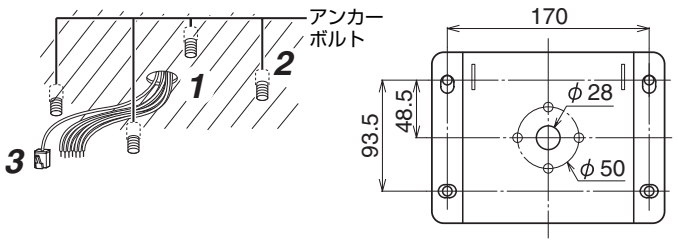
本機を取り付ける

ご注意 **作業の前にお読みください。**
- 本機を設置する場合は専門の技術が必要となります。
- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分にご注意ください。
- 本機の質量は、約2.3 kg(取付ブラケット含む)あります。落下には十分注意して取付作業を行ってください。
- 設置時は、カメラ取付部をつかんで作業してください。
- 天井への取り付けは、落下物から目を保護するため、必ず保護めがねを着用して行ってください。

天井に穴をあける

壁に取り付ける場合は、手順の中で "天井" と書かれた部分を "壁" として作業してください。

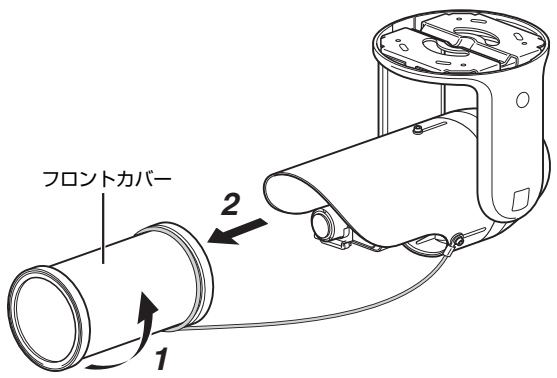
ご注意
- 天井の強度を確認ください。本機が落下する原因となります。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に補強を必ず行ってください。



1 天井に穴(φ28)をあける
2 アンカーボルトを立てる
取付ブラケット(付属)を天井に取り付けるため、アンカーボルト(M8×35 mm以上)を4本立てます。
3 天井からケーブルを取り出す

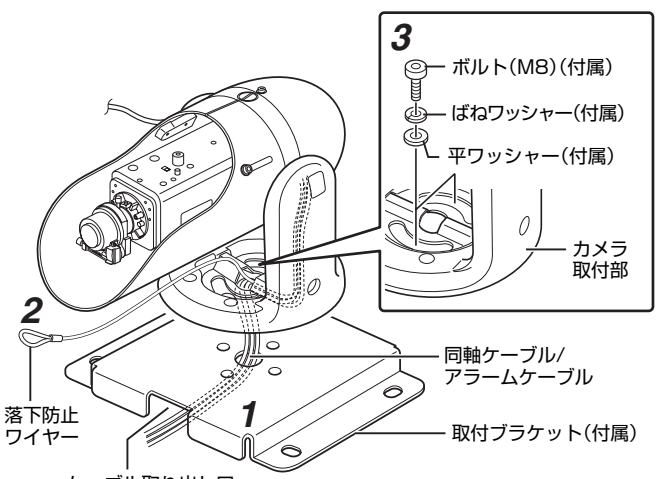
フロントカバーをはずす

スイッチ設定を行うため、フロントカバーをはずします。



1 フロントカバーを反時計方向に回します。
2 フロントカバーをレンズ方向にはずします。

取付ブラケットに本機を取り付ける



※イラストは天井に取り付ける場合です。

1 本機のケーブルを取付ブラケットの穴に通す
2 落下防止ワイヤーをカメラ取付部中心の穴から出す
3 本機を取付ブラケットにボルト(M8)2個で取り付ける
付属のレンチでボルトを締め付けます。

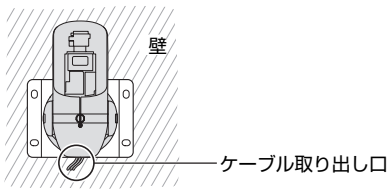
■天井に取り付ける場合

本機の撮影方向をケーブル取り出し口に向けて、取付ブラケットに取り付けてください。

■壁に取り付ける場合

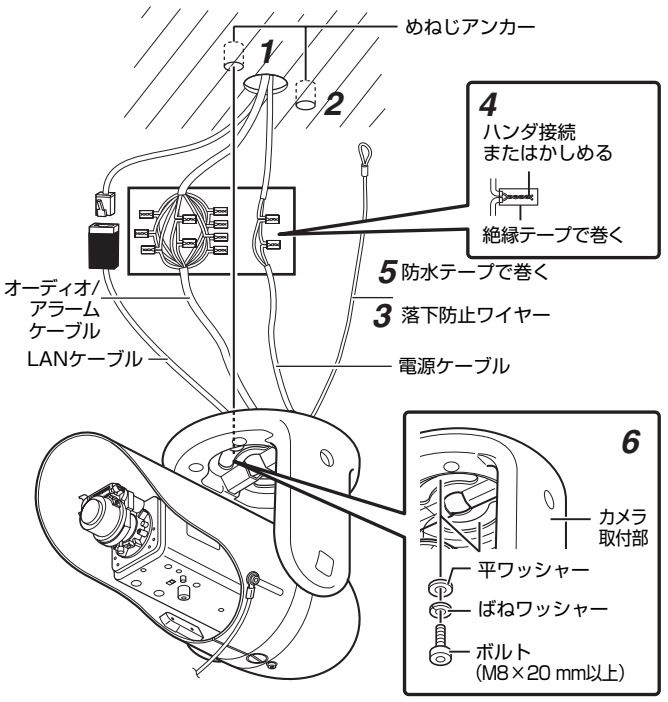
本機の撮影方向をケーブル取り出し口の反対側に向けて、取付ブラケットに取り付けてください。

メモ
- 壁に取り付ける場合は、天井に取り付ける場合と本機の向きが異なります。防滴のためにケーブル取り出し口が下側になるように本機を取り付けてください。



ご注意
- 本機を取付ブラケットに取り付けるときに、落下防止ワイヤーをはさまないように注意してください。また、ケーブルはカメラ取付部の溝に収納してください。

天井に本機を直付けする場合



1 天井に穴(φ28)をあけ、ケーブル類を天井から出す
2 カメラ取り付け用めねじアンカー(M8)を2本埋め込む
3 天井と本機をつなぐ、落下防止ワイヤーを取り付ける

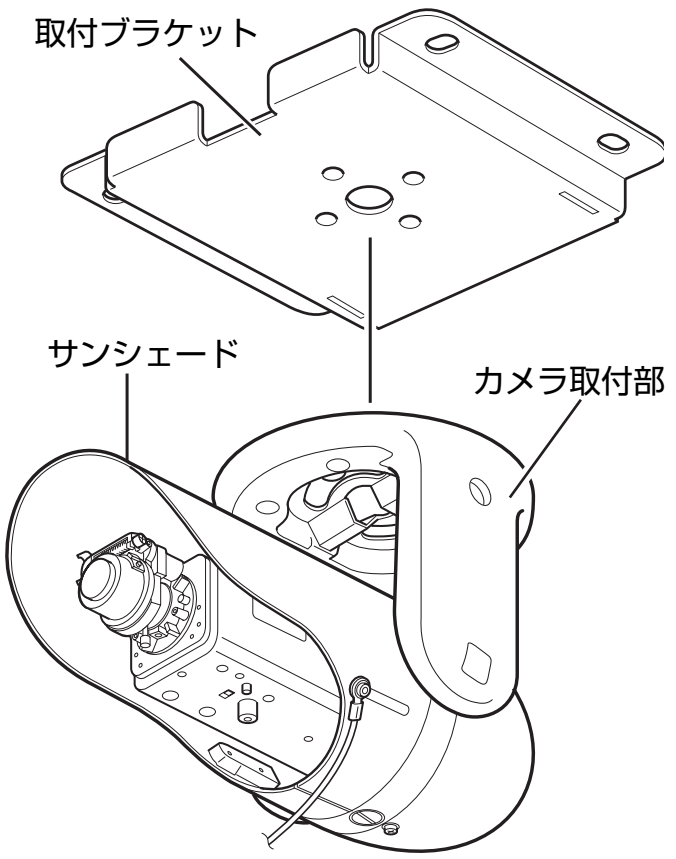
ご注意
- 本機から出ている落下防止ワイヤーを、十分強度のある場所(天井スラブなど)に取り付けてください。
- 落下防止ワイヤーは、長さ・強度などを十分考慮したものを使用してください。材質は絶縁材を使用してください。長さは取り付け可能な範囲で短くしてください。

4 ケーブル類を接続する(☞[ケーブルを接続する])
5 防水テープをケーブル類に巻く

メモ
- 使用しないケーブル類の先は、1本ずつ必ず絶縁テープおよび防水テープを巻いて処理してください。

6 本機を取り付ける
ケーブル類を天井側に入れながら、ボルト(M8×20mm以上)を締め付けます。

ご注意
- 付属のボルトは、取付ブラケット用です。本機の取り付けには使用しないでください。
- ボルト、平ワッシャーおよびばねワッシャーはステンレス製をお使いください。スチール製をお使いの場合は、設置したあとで塗装するなどのさび止め処理を施してください。



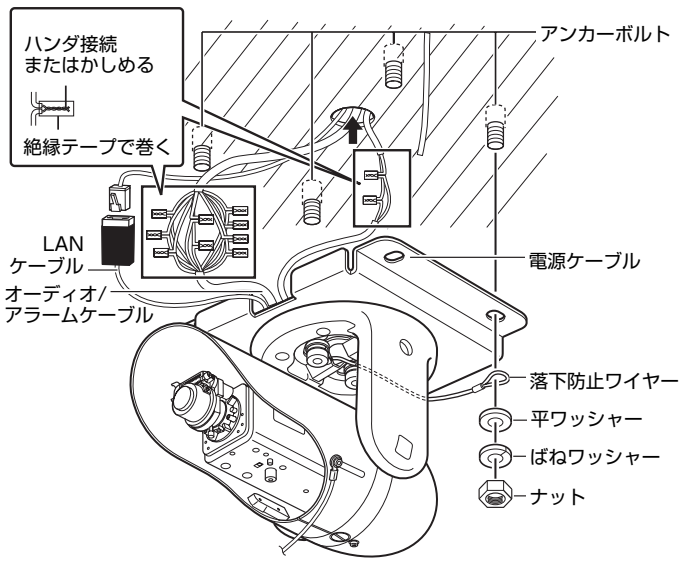
ケーブルを接続する

AC24 V電源ケーブル、アラーム入出力ケーブル、オーディオ入出力ケーブルは、それぞれのケーブルの端子同士をかしめる、またはハンダづけして接続します。
接続しないケーブルも含めて絶縁テープおよび防水テープを接続部・端子部に巻いて絶縁・防水処理をしてください。
LANケーブルはコネクタに確実に差し込んでください。その後防水テープを巻いて防水してください。

ご注意
- PoEとAC24 V電源を同時に使うことは故障の原因になります。必ずどちらか一方で電源を供給してください。
- 電源ユニットにTK-A241を使用する場合、接続可能台数は最大6台です。
- TK-A241の取説も合わせてご覧ください。

天井に本機を取り付ける

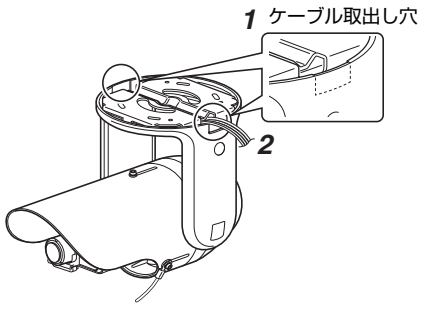
本機をナット、平ワッシャーおよびばねワッシャーでアンカーボルトに取り付けます。本機を取り付けるとき、落下防止ワイヤーを一緒に取り付けます。



ご注意
- ナット、平ワッシャーおよびばねワッシャーは、ステンレス製をお使いください。スチール製をお使いの場合は、設置したあとで塗装するなどのさび止め処理を施してください。

ケーブルを横出しして取り付ける場合

本機を天井や壁に直付けする場合、穴をあけずにケーブルを横出しして取り付けることもできます。本機の取付方法は、[天井に本機を直付けする場合]と同じです。



1 ケーブル取出し穴をニッパーで切断し、ラジオペンチなどで割る
横出しする方向のケーブル取出し穴を割ります。
2 ケーブルを横出しする
3 [天井に本機を直付けする場合]の手順2～6を行う

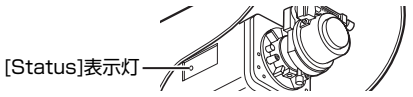
電工ボックスを使用して取り付ける場合

詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

☞ 次ページへ続く

電源を入れる

すべての接続と取り付けがすべて終了した後、機器の電源を入れてください。起動中は[STATUS]表示灯がオレンジ色に点灯し、起動後は緑色に点灯します。



メモ

- [Status]表示灯は、側面孔から点灯状態を確認できます。

映像を調節する

実際の映像を見ながら映像を調節します。
※天井に直接取り付けた場合のイラストを使用して説明しています。ケーブルを横出しして取り付けた場合も、作業内容は同じです。

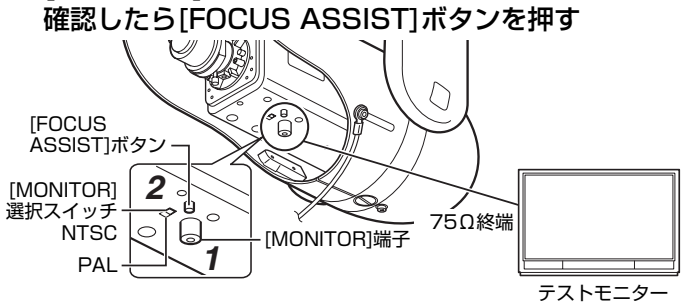
ご注意

- 本機を触る前に必ずモニター端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。
  静電気により本機が故障する場合があります。

撮影方向を調節する

1 [MONITOR]端子にテストモニターを接続する

2 [MONITOR]選択スイッチが"NTSC"であることを確認したら[FOCUS ASSIST]ボタンを押す

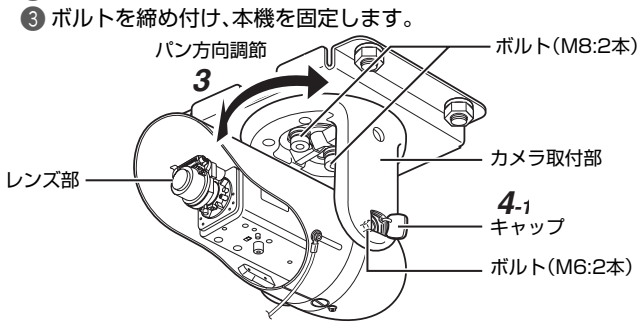


メモ

- モニター出力映像の縦横比は、16:9です。テストモニターの縦横比が4:3の場合、本機映像の縦横比を4:3に変換して映像が表示されます。
- NTSCモニターに接続する場合は"NTSC"、PALモニターに接続する場合は"PAL"に設定し、[RESET]ボタンを約3秒ほど押して再起動します。再起動中は、[STATUS] 表示灯がオレンジ色に点灯します。
- [RESET]ボタンを5秒以上押し続けると、サービスモードになりますので、5秒以上押し続けないでください。

3 パン方向の調節をする

❶ 本機を取付ブラケットに取り付けているボルト(M8:2 本)を付属のレンチでゆるめます。
❷ カメラ取付部を持ち、パン方向を調節します。調節範囲は±50°です。
❸ ボルトを締め付け、本機を固定します。

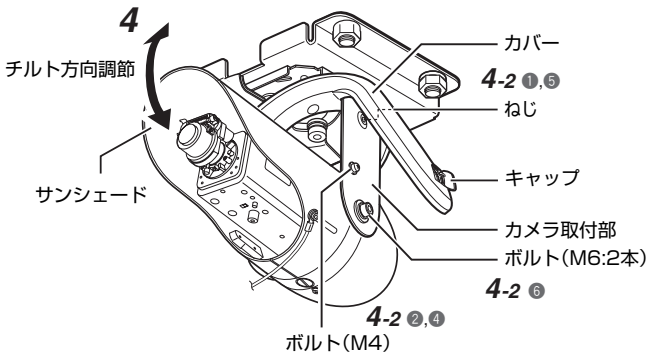


4 チルト方向の調節をする

4-1 チルト方向の粗調節

❶ カメラ取付部側面のキャップ(2箇所)をあけます。
❷ ボルト(M6:2本)を付属のレンチでゆるめます。
❸ サンシェードを持って、チルト方向を調節します。
調節角度は1ステップ約18°です。
❹ 微調節を行う場合は、ボルト(M6：2本)を仮止めして手順*4-2*へ進みます。
❺ 微調節を行わない場合は、ボルト(M6：2本)を指定トルクで十分締め付けてキャップをとじます。

4-2 チルト方向の微調節



❶ カメラ取付部の右側面のねじをゆるめてカバーを開きます。
❷ ボルト(M4)をレンチでゆるめます。
❸ サンシェードを持って、チルト方向を調節します。調節範囲は約20°です。
❹ ボルト(M4)を指定トルクで締め付けます。
❺ 手順❶でひらいたカバーを閉じ、ねじでとめます。
❻ 手順*4-1*の❹で仮止めしたボルト (M6：2本) を指定トルクで十分に締め付け、キャップをとじます。

ご注意

- チルト方向の微調節は、必ずボルト(M4)をゆるめてから行ってください。ボルトを締め付けた状態で、チルトの微調節を行うと、ボルトが緩むことがあります。
- チルト方向を調節し、チルト位置が決まったら、カメラ取付部両側のボルト(M6およびM4)を必ず、下記の指定トルクで締め付けてください。
  -M6：3.93 N･m以上、M4：0.98 N･m以上

画角とフォーカスを調節する

1 ズーム比を調整する

❶ ズーム調整リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かし、ズーム比を調節します。調節が終わったら固定ネジを締めます。

ご注意

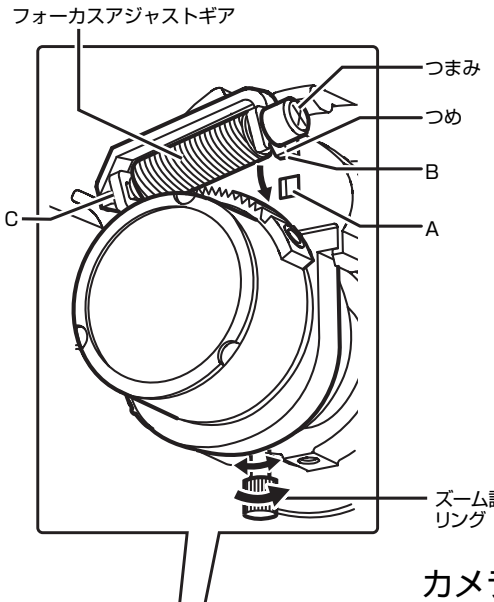
- 画像サイズを調節するとき、ズーム調節リングに強い力を加えると、破損する場合があります。
  調節範囲を超えてズーム調節リングを動かすと、本機の性能が維持できなくなる場合があります。

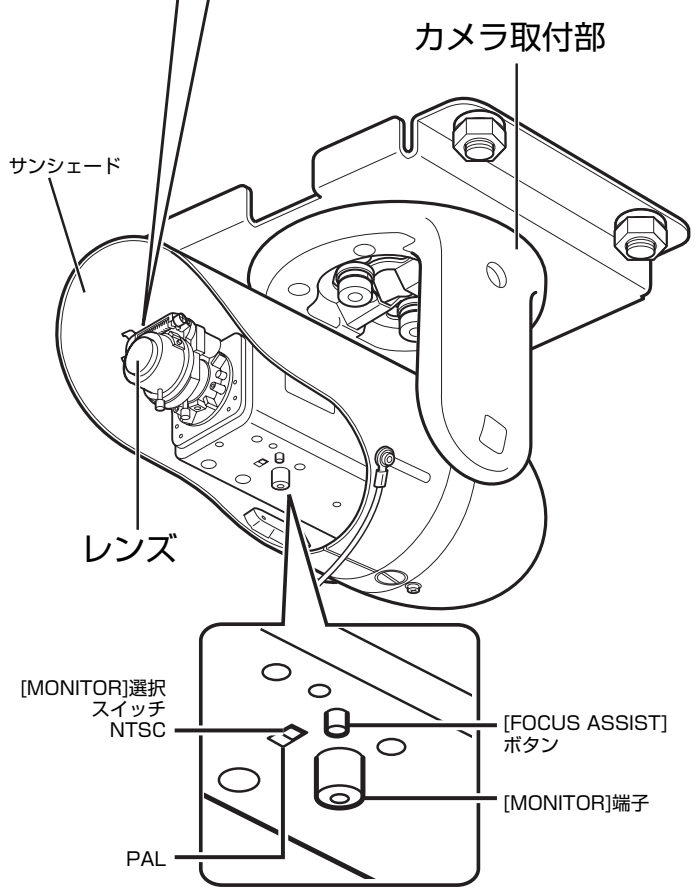
2 フォーカスを粗調節する

❶ フォーカスアジャストギアのつまみを持ちあげ、つめを図のAからBに入れ、ギアのかみ合わせを解除します。

ご注意

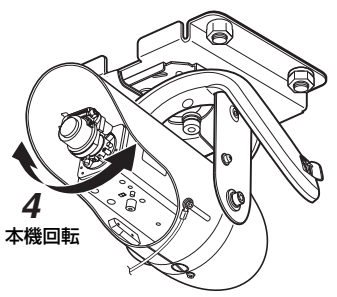
- ギアをBより外側に開きすぎた場合、破損を防ぐためギアの軸が軸受け(左図中C)からはずれます。このような場合は軸を軸受けCに入れなおし、元の状態に戻してご使用ください。





5 本機を回転させ、画面を調節する(壁へ取り付ける場合のみ)

本機を壁に取り付けた場合、画面の傾きが正常になるように本機を調節します。調節範囲は±110°です。

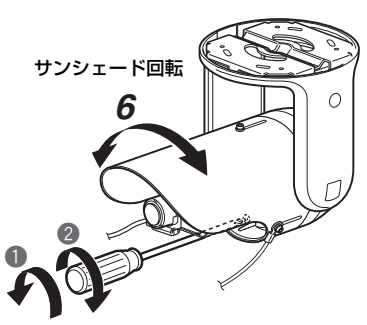


ご注意

- 本機の撮影方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

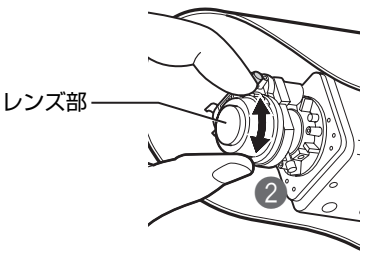
6 サンシェードを回す(壁へ取り付ける場合のみ)

本機を回した場合、以下の手順でサンシェードを回してください。



❶ 本機下のねじをゆるめて、サンシェードを回す。
❷ 本機下のねじを締める。

❷ 先端のレンズを指で回し、フォーカスを粗調節します。



ご注意

- カメラの方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。また、レンズを指で回すとき、指紋がつかないようにご注意ください。

❸ つめを元の位置に戻し、フォーカスアジャストギアを元の状態に戻します。

3 カメラをパソコンに接続し、統合ビューワーを開く

- パソコンの設定、カメラとの接続の方法については、[取扱説明書(IP設定編)]をご覧ください。

4 詳細設定の[フォーカス]ページの[デイフォーカス調整]を実行する

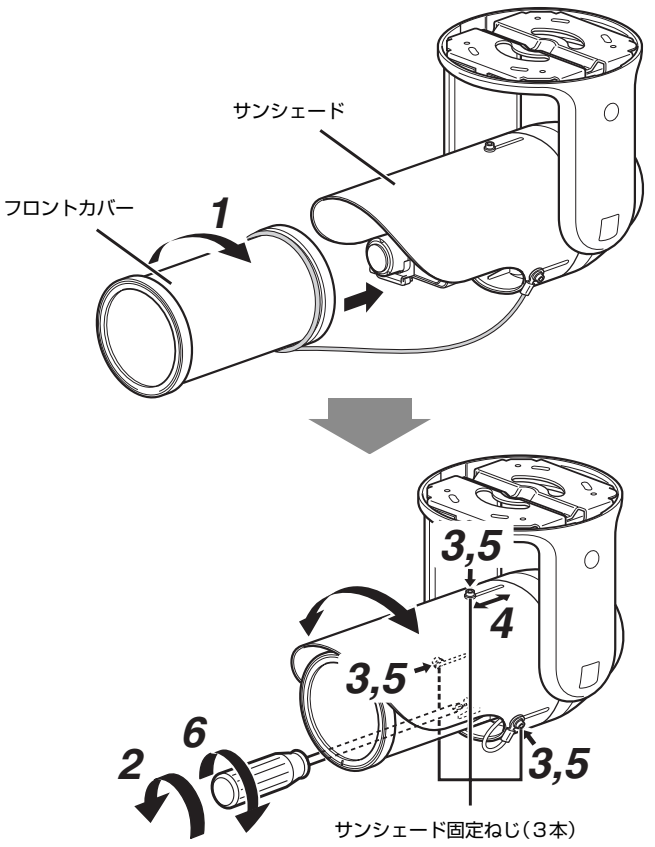
- レンズのフォーカスが自動で調節されます。
- レンズフォーカスの詳細は、付属のCD-ROM内の[取扱説明書(設定編)]をご覧ください。

ご注意

- 次のような場所を撮影する場合はフォーカスを自動で合わせにくいことがあります。
  - 極端に明るい場所
  - 極端に暗い場所
  - 明るさが常に変化している場所(ライトの点滅・人が画面を横切るなど)
  - コントラストがほとんどない場所
  - 繰返しの縦じまパターンがある場合
- フォーカス位置は、カメラと接続するパソコンの統合ビューワーから手動調節することもできます。(☞ [取扱説明書(設定編)])自動で合わせにくい場合に、お使いください。

サンシェードの調節

サンシェードを調節する



1 フロントカバーを時計方向に回して、取り付ける
フロントカバーがしっかりと取り付いているのを確認してください。

2 本機下のねじをゆるめる

メモ

・ フロントカバーを傷つけないように、長いドライバーをお使いください。

3 サンシェード固定ねじ(3本)をゆるめる
ねじがゆるめにくい場合は、サンシェードを回してください。

メモ

・ サンシェード固定ネジをはずすと、フロントカバーの落下防止ワイヤーがはずれます。サンシェード固定ネジをはずさないでください。

4 サンシェードを前後に動かして、位置を調節する

メモ

・ フレアやゴーストが発生するときに調節してください。
・ レンズの画角とサンシェードの位置によっては、サンシェードが画面に写りこむ場合があります。

5 調節後、サンシェード固定ねじを締め付け固定する

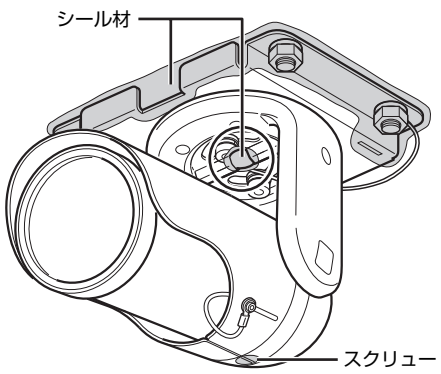
6 サンシェードを適切な位置に回し、本機下のねじを締め付け固定する

☞ 次ページへ続く

防じん・防水処理

防じん・防水処理をする

防じんのために、取付ブラケットのケーブル取り出し口およびすきまと、カメラ取付部中心の穴をシール材(GEシリコン)で埋めてください。



ご注意

- カメラ底面のスクリューは絶対にゆるめないでください。ゆるめたり、はずしたりすると、水や湿気が入り込み、レンズやフロントカバーのガラスがくもる場合があります。

こんなときは

症状	原因と対応
ネットワーク画像の動きがぎこちない	• モニター画像の出力設定がONの場合、ネットワーク画像のフレームレートは低い設定となります。 • モニター画像出力をOFFにし、フレームレートを再度設定してください。 (☞[取扱説明書(設定編)] →「Internet Explorerを使った設定」 −「エンコードページ」)
モニター画像が出力されない	Internet Explorerによる設定でOFFとなっていませんか？ モニター出力設定をご確認ください。
外部マイク音声が聞こえない	• マイクとの接続をご確認ください。 • 音声の設定がOFFになっていませんか？(☞[取扱説明書(設定編)] →「音声ページ」)
フォーカスが合わない	フォーカスアジャストギアはかみ合っていますか。つめの位置をご確認ください。

memo

仕　様

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

カメラ部	撮像素子	1/3 型正方画素プログレッシブスキャン方式CMOS(原色フィルタ)
	有効画素数	約2,120,000 画素 1944 (H)×1092 (V)
	最低被写体照度	(50 %、AGC High、1/30 s) カラー :0.3 lx (typ.) 白黒 :0.03 lx (typ.)
モニター出力		75 Ω、1.0 Vp-p NTSCまたはPAL(スイッチ切換)
音声入力	入力	プラグインパワー方式のマイク接続可能
	基準電圧	DC2.47 V (typ.)
	インピーダンス	2.2 kΩ (typ.)
音声出力		ライン出力 (200 Ω 、最大1.9 Vp-p)
ネットワーク出力	画像圧縮 フォーマット	JPEG、H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile、MPEG-4
	フレームサイズ	1920 × 1080 1280 × 960 1280 × 720 640 × 480 640 × 360 320 × 240
	音声圧縮 フォーマット	μ-Law(64 kbps)、AD/DA 16 ビット、Fs = 8 kHz、モノラル
	ネットワーク インターフェース	RJ-45 100BASE-TX/10BASE-T/FULL/HALF/オートネゴシエーション対応
アラーム入力		無電圧a接点入力、PNPオープンコレクター入力、ローレベル、ラッチ/モーメンタリ(500 ms以上)(ローレベル時回路電流1 mA、ハイレベル時印加電圧3.3 V)
アラーム出力		NPNオープンコレクター出力 (許容印加電圧DC16 V許容流入電流30 mA)
アラーム記録		16 MB
レンズ	焦点距離	f = 3 mm ～ 9 mm
	最大口径比	F 1.2 (f = 3 mm) ～ F 2.1 (f = 9 mm)
	絞り範囲	F 1.2 ～ F 360
	ズーム比	3 倍
LAN規格	規格	IEEE 802.3、IEEE 802.3u、IEEE 802.3af準拠
	通信プロトコル	TCP/IP、UDP/IP、FTP、ICMP、ARP、DHCP、SNTP、HTTP、SMTP、RTP、RTSP、IPv4、IPv6、DSCP、HTTPS、SNMP
総合	電源電圧	AC24 V 50 Hz/60 HzまたはPoE(DC-48 V)
	消費電流	AC24 V 0.5 A、PoE 150 mA(7.2 W)
	周囲温度	−10 ℃ ～ 50 ℃(動作) 0 ℃ ～ 40 ℃(推奨)
	周囲湿度	20 %RH ～ 90 %RH(結露なきこと)
	質量	約 1.8 kg
	防塵防水性	IP66準拠(JIS C 0920)

外形寸法図(単位：mm)

